

日本薬物動態学会 第2回ビジョンシンポジウム

主題：**薬効・毒性予測の新機軸**

Inventions and Innovations for the Prediction of Drug Efficacy and Toxicity

日時：**平成21年6月5日(金), 6日(土)**

会場：**東京大学小柴ホール** (東京都文京区本郷7-3-1)

6月5日 (金)

■セッション1 (13:10-16:05)

幹細胞・再生医学研究：医薬品研究開発への応用に向けた課題と展望

- ・ 幹細胞創薬 -ヒト体性幹細胞からヒトiPS細胞へ- 桜田一洋 (Sony CSL)
- ・ ヒト間葉系幹細胞を用いた薬物の安全性・毒性試験 落谷孝広 (国立がんセンター)
- ・ ヒト月経血・子宮内膜由来間葉系幹細胞からの心筋分化
：薬剤マスキングシステム開発の上での問題点 三好俊一郎 (慶応大)
- ・ 皮膚再生と薬物の経皮吸収の新機軸 山口葉子 (聖マリアンナ医大)

■特別講演 (16:20-17:30)

Polypharmacology: multiple target perturbations as the key to designing efficacy and understanding toxicity.
Dr. Andrew L Hopkins (University of Dundee)

■懇親会 (18:00-20:00)

6月6日 (土)

■セッション2 (9:15-12:10)

薬物応答性予測系としてのイメージングの新展開

- ・ 新規蛍光プローブの精密設計による生細胞酵素活性イメージング 浦野泰照 (東大)
- ・ イメージングバイオマーカー -細胞機能と生体環境の光イメージング 今村健志 (癌研)
- ・ イメージングマスペクトロメトリーによる薬物応答可視化 瀬藤光利 (浜松医大)
- ・ PETによる薬効・毒性予測の可能性 塚田秀夫 (浜松ホトニクス)

■セッション3 (13:30-17:15)

創薬におけるシステム生物学と計算化学

- ・ システム生物学と創薬 (仮題) 北野宏明 (Sony CSL)
- ・ インシリコ・フラグメントベース創薬の試み 朝永惇 (富士通)
- ・ ケミカルゲノミクスに基づくインシリコ創薬 奥野恭史 (京大)
- ・ メタボロミクス解析におけるインフォマティクス 有田正規 (東大)
- ・ 核内受容体PPAR γ を中心とした生活習慣病関連遺伝子ネットワーク 岡崎康司 (埼玉医大)

* プログラムは一部変更になる場合があります。最新情報はウェブサイト (<http://www.jssx.org/vs/2009/>)をご覧ください。

- ・ 参加費：一般10,000円 (当日15,000円), 学生3,000円 (当日5,000円) 会員・非会員同一料金です。
- ・ 懇親会費：一般5,000円 (当日8,000円), 学生3,000円
- ・ 参加申込：学会ウェブサイトから申し込み可能です。
事前登録締切日：5月8日(金)。ただし、定員(170名)になり次第締め切らせていただきます。
- ・ 実行委員会：吉成浩一 (実行委員長：東北大), 久米俊行 (副委員長：田辺三菱製薬), 石井祐次 (九大),
伊藤隆志 (第一三共), 大槻純男 (東北大), 楠原洋之 (東大), 崔吉道 (金沢大), 寺田智祐 (京大)
- ・ 連絡先：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野内
日本薬物動態学会第2回ビジョンシンポジウム事務局 代表 (実行委員長) 吉成浩一
E-mail: jssxvs2009@gmail.comあるいはkyoshina@mail.pharm.tohoku.ac.jp

主催：日本薬物動態学会